



申1号「駅体制の見直しについて」団体交渉開催！（その③）

⑨原ノ町駅臨時窓口化を行う目的を明らかにすること。また、臨機応変に対応出来る体制を構築し、お客さまのサービスを低下させない施策とすること。

組合：原ノ町駅を臨時窓口化した理由を明らかにすること。

会社：今年3月に相馬駅のみどりの窓口の営業を終了し、原ノ町駅に話せる指定席券売機を導入した。仮にみどりの窓口を終了する場合、南はいわき駅・北は岩沼駅まで窓口が無い状態となる。特情を考慮し、臨時窓口化を行った。

組合：みどりの窓口を開けた実績や内容を明らかにすること。

会社：7月1日より臨時窓口化を行った。話せる指定席券売機で発売出来ない乗車券類やクレジットカードの暗証番号がわからないお客さま対応等である。イベント時に多客でみどりの窓口を開けた実績がある。

組合：話せる指定席券売機に多くの徒列があり、諦めてしまったと旅客からの申告がある。改めてより良い施策とするため、社員の判断でみどりの窓口を開けること。

会社：会社とすれば臨機応変に対応している認識である。意見は承る。

確認事項 社員の判断で臨機応変にみどりの窓口を開けること。

⑩組合員・社員が不安なく安心して働くために、教育・訓練等は事前に行い、働きがいを持てる施策とすること。

組合：今施策による教育・訓練は事前に行うこと。

会社：勝田営業統括センターとしてJESSと意見交換や機器の説明会等を行った。勝田運輸区の社員に対して勝田営業統括センターの兼務発令を行っている。今後は高萩駅や日立駅でも業務を行う考えである。

組合：組合員・社員が不安なく業務に従事出来るよう教育・訓練は事前に行うこと。

会社：認識は一致する。本人の習熟度を見て、現場長が判断する考えである。

確認事項 業務に従事出来るよう必要な教育・訓練は実施する。

⑪本施策に伴う異動が発生する場合、ジョブローテーションの趣旨に則り、本人希望を尊重すること。

組合：本施策に伴う異動が行われる場合、本部一本社間で確認した議事録確認を遵守し、キャリアプランを把握し、本人希望を尊重すること。

会社：自己申告書に基づく面談で把握する。また管理者が日々のコミュニケーションで把握する考えである。希望が全て叶うのは理想だが、任用の基準に則り行う考えである。

組合：他支社でジョブローテーションの異動に伴い、キャリアプランが尊重されない転勤で、退職や病欠等が発生している。水戸支社の現状を示すこと。

会社：水戸支社では発生していない。両親や子供の体調変化、内面等をコミュニケーションで把握する考えである。

組合：組合員が成長する施策とするため、労使議論を遵守すること。

確認事項 両親や子供の体調変化、内面等をコミュニケーションで把握する。